

令和2年園内自己評価書

令和3年3月 4日
真庭市立久世第二保育園
園長 井原 悦子 印

1. 久世第二保育園園の教育保育目標

保育・教育方針

児童福祉法（昭和22年法律第164号）第39条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であり、入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい場とする。

保育・教育目標

～テーマ～ 居心地の良い環境のなかで育ちあう保育

- ☆ 生き生きとした元気な子ども
- ☆ 自分の思いを相手に伝えられる子ども
- ☆ 友だちと共に育ちあう子ども

2. 本年度の重点目標

- ☆ 体を動かす様々な遊びを見つけ挑戦する面白さが味わえる保育
- ☆ 遊びの中で心の成長学びを大切にする保育

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合 評価
教育課程・指導計画	指導計画については、おおむね遅れることなく提出できている。 話し合いが持てにくかったが、振り返りながら翌月に生かせる等にした。 園全体で園内研修を深め、重点テーマをもとに保育をすることも大切である。	3
行事	職員会議を繰り返ししながらできることを考えて取り組むことができた。コロナ対策に追われて参観日などできなかったのは残念で反省する年齢に応じて参加できるように工夫したい。	3
組織・運営	職員の都合で退職等があり職員の配置換え等工夫しながら、園の子どもたちの安全で安心な保育の保証に努めていくようにした。	3
学級経営	各年齢に応じて、担任が年間計画、クラス運営を工夫し、子どもの遊び、成長を保障しながら保育することができる。園全体としての共通の理解が深めていけるとよいと考える。	3
特別支援教育	支援の必要な園児については、専門機関の指導を受けるようにして子どものより良い発達につながるようにした。保護者と面談等を利用し共通の意識をもって支援していけるようにした。 保健師に来園してもらって様子を見てもらったり、連絡を取り合うようにした。	3
安全管理・保健指導	不審者侵入の研修は引き続き取り入れ職員が研修を重ねていけるようにした。引き渡しができなかったのを来年度行いたい。	3
研修（資質向上）	各研修に保育士が出席できるように計画建てながら取り組んだが、園児の保育等で出席できにくい時もあった。 園内研修など時間を工夫して取り組んでいきたい。	3
情報提供・保護者 地域との連携	コロナ対応等その時に応じて対応を職員同士考え保護者に分かりやすく伝えていった。丁寧に伝えることで、園としての方針をわかってもらい協力をしてもらえた。 地域との交流はなかなか進めて行けず、課題となり今後も考えないといけない。	3
小学校との接続・連携	1年生入学後の様子を見て共通の課題について話し合い、交流会を持ったが、型にはまった交流になったように思うので工夫していきたい。	3
子育て支援	個々の子どもの実態に応じて担任から伝えたり園長が保護者と話しをしたりして支援した。保健師との連絡をとれるようにした。	3
食育の推進（給食）	園の畑で子どもたちと栽培したものを給食に取り入れてもらい実態体験を重ね食べ物に関心を持つことができた。収穫した野菜を家庭に持ち帰り家庭でも料理に使ってもらい、子どもも喜びを味わえた。	4
食事の提供（調理）	アレルギー対応、衛生面等保育士と常に情報共有しながら進めていった。特に給食室との連携を深め、保育士も意識して対応している。	4

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価
職員の連携	職員間の連携はよく取れている。また、朝礼等での連絡報告なども細かくできている。朝礼の報告のみにならないよう、園内研修を深めていく必要がある。行事については今までを振り返り見直すことができた。 新型コロナウイルス感染症対策について職員でできることは取り組んだが、対応することで保護者にも参観日などできることを考えていくことも必要だった。	3
その他2	保護者に日頃の園生活保育士のかかわり等参観日等ができなかったので懇談等で伝えたが、実際の姿が見れないこともあり、保護者に伝わりにくかったと反省するところがある。	2

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

<p>☆園内で遊ぶことは環境を整えて工夫できたが、散歩等園外に出かけることができにくかった。という昨年度の反省をもとに今年度は体感を鍛えていく。というねらいのもとに取り組んでいくようにした。2歳児は複数担任ということもあり安全面に気を付けながら散歩に出かけることが多かった。クラスによって園外保育に出かけにくい環境もあったと反省する。</p> <p>☆職員連携をとり、コロナ禍での行事等対応策を考え、行事の準備等すすめていった。</p>
--

6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

<p>◎現状の子どもの姿から園として重点的な目標を掲げて会議等で話し合いを深めていく。</p> <p>◎職員の言動、行動そのものが子ども、保護者に大きく影響するので一人ひとり資質、技能、能力を磨いていけるように、職員一丸となって切磋琢磨したい。</p> <p>◎朝礼は引き続き継続し、午睡時間の利用を工夫して確保して職員会議も欠かさず、行っていくようにしたい。</p> <p>☆保護者アンケートは行事、ノーメディアチャレンジカード等で行い、今年度の現状等を踏まえて、園として取り組んだことに対して不満等が出ることはなく保護者会も協力してくださった。</p>
--

(保護者アンケートの結果や園内職員で改善策を話し合ったことなど織り込んで記入する)

園評価基準

評 価	基 準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である